

2014年度4月入学者の学費額等について

大学院経済学研究科

2014年度4月入学者の学費額等が決定いたしましたので、下記の通りお知らせします。

修士課程 2014年度4月入学者入学金・学費・諸会費

コース・学期 学費・諸会費		経済学コース・国際政治経済学コース						経済ジャーナリズムコース					
		初年度(2014年度)			第二年度(2015年度)			初年度(2014年度)			第二年度(2015年度)		
		(入学時*) 春学期	秋学期	合計	春学期	秋学期	合計	(入学時*) 春学期	秋学期	合計	春学期	秋学期	合計
入学金		200,000		200,000				200,000		200,000			
学費	授業料	270,500	270,500	541,000	272,500	272,500	545,000	386,000	386,000	772,000	388,500	388,500	777,000
	教育環境整備費	60,000	60,000	120,000	60,000	60,000	120,000	60,000	60,000	120,000	60,000	60,000	120,000
	演習料	1,500	1,500	3,000	1,500	1,500	3,000	1,500	1,500	3,000	1,500	1,500	3,000
諸会費	学生健康増進互助会費	1,500	1,500	3,000	1,500	1,500	3,000	1,500	1,500	3,000	1,500	1,500	3,000
	学会入会金	2,000		2,000				2,000		2,000			
	学会会費	750	750	1,500	750	750	1,500	750	750	1,500	750	750	1,500
	合 計	536,250	334,250	870,500	336,250	336,250	672,500	651,750	449,750	1,101,500	452,250	452,250	904,500

- (注) 1. 当学の学部、大学院、専攻科の卒業、修了または退学者が再度当学に入学的場合、入学金が免除されます。
2. 当学政治経済学部出身者は、学会入会金が免除となります。
3. 一度提出した出願書類および入学時に納入した入学金、学費、諸会費は、原則として返還しません。
ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合には、入学金以外の学費・諸会費を返還いたします。
4. 早稲田大学の複数の研究科から入学を許可された場合、申し出により既に納入した入学金・学費（入学時）を入学希望研究科の費用に振り替えることができます。ただし、入学手続期間が当研究科と重ならない研究科間に限ります。
手続方法等、詳細については合格者に送付される「入学手続の手引き」を参照してください。
5. 演習料、諸会費は改定されることがあります。

* 入学時の納入金額について

○第1期募集については、入学手続を2回に分けて行ないます。

・第1次入学手続 ⇒ 入学金のみ納入

・第2次入学手続 ⇒ 学費・諸会費納入

○第2期募集については、入学手続の際に入学時の入学金・学費・諸会費の合計額を納入します。

※上記詳細は、それぞれの合格者に配付する「入学手続の手引き」を参照してください。

以 上

ジャーナリズム大学院の学費改定について

ジャーナリズム大学院では、新旧様々なメディアにおける多様な情報発信活動を想定し、知識、技能および倫理において真に実践的な専門職業人の育成をめざし、様々な専門的知識に基づき現代を最先端の接点で捉えられる鋭敏なジャーナリストの養成を行っています。

昨今のマス・メディアやソーシャル・メディアの動向を考えるならば、今後のジャーナリストに必要とされる能力の涵養には、これまでのジャーナリズム大学院の教育的取り組みを基盤としつつも、新たなメディアの登場とその成長が生み出す課題に対して科学的分析力をもち、同時に最新の科学技術に支えられた情報加工・発信力を兼ね備えた人材を、より丁寧に育成する仕組みづくりが必要です。

そのためには、急速な変容をみせる現代の新しいメディア・ジャーナリズムの進展に遅れることなく、常に新たな教育の展開を志向し、既存のプログラムの管理運営に加え、学術面と技術面の裏付けと実務家等とのコミュニケーションなどの不断の努力により、科学技術や業界の変化を見据えた、真に実践的な教育プログラムを持続的に開発し実施してゆかなければなりません。

その実現に向けて、政治学研究科および経済学研究科ジャーナリズムコース修士課程では、2014 年度入学者以降に適用される学費額の改定により、新 3 号館建設で整備される新たな教育研究拠点において、以下に示した方針のもと、卓越したジャーナリズム教育プログラムを段階的に展開いたします。

- グローバル社会に対応した、国際的なジャーナリズム教育を展開します。
- 既存メディアの発展と新しいメディアの登場に適確に対応した授業プログラムの提供をすすめます。
- リカレント教育及びキャリア教育の充実のため、より積極的な産学連携の推進や、成績優秀者に対する早期学位授与を促進します。
- 早稲田大学の情報発信拠点の整備に関連し、より実践的なジャーナリズム・メディア教育との連携を推進します。
- より充実した教員体制を整備します。

以 上

2013年7月20日

早稲田大学政治学研究科・経済学研究科